

山形県図書館大賞 2025 受賞作品決定！

これまで縁のなかったジャンルや作家の本に興味を持つきっかけは、意外と身近なところにあります。書店のポップやメディアでの紹介は、その一例と言えるでしょう。とりわけ、文学賞の影響は大きく、芥川龍之介賞や直木三十五賞のノミネート・受賞作が発表される時期は、図書館にも多くの問い合わせが寄せられます。


また、本屋大賞の存在も見逃せません。本屋大賞は、全国の書店員が「今、いちばん売りたい本」を決める賞として、2004年に創設されました（本屋大賞公式サイトより）。読者に近い立場にいる書店員の声反映される点が特徴で、今年も『暁星』/湊かなえ、『ありか』/瀬尾まいこ、『イン・ザ・メガチャーチ』朝井リョウ等のノミネート作品が発表され、注目が集まっています。さて、本屋大賞に類似する取組として、「図書館大賞」があります。書店員による投票で選ばれる本屋大賞に対し、図書館大賞は図書館員の推薦と投票によって選出されます。全国でさまざまな図書館大賞が実施される中、鶴岡市立図書館は「山形県図書館大賞」に参加しています。本賞は、山形県図書館協会により2015年から始まりました。毎年テーマに沿って、県内図書館員が推薦・投票を行い、上位約20作品を発表しています。

2025年度のテーマは、「大人の読書スタート～短編集・読みやすい本～」です。久しぶりに本を手取る方や、短い時間でも読書を楽しみたい方、新たなジャンルに挑戦したい方にぴったりの、親しみやすい作品が選ばれました。

鶴岡市立図書館では、下記期間、受賞作品を展示しています。皆さまが新たな“推し本”に出会う機会となれば幸いです。ぜひご覧ください。

《「山形県図書館大賞2025」展示》

期間：3月12日（木）まで 場所：図書館本館1階 展示コーナー

 図書館にある「様々な賞を受賞した本」

- 『PRIZE』 村山 由佳(2025)
- 『成瀬は天下を取りに行く』
宮島 未奈(2023)
- 『汝、星のごとく』 凧良 ゆう(2022)
- 『同志少女よ、敵を撃て』
逢坂 冬馬(2021)
- 『52ヘルツのクジラたち』
町田 そのこ(2020)
- 『流浪の月』 凧良 ゆう(2019)
- 『そして、バトンは渡された』
瀬尾 まいこ(2018)
- 『かがみの孤城』 辻村 深月(2017)

- 『蜜蜂と遠雷』 恩田 陸(2016)
- 『羊と鋼の森』 宮下 奈都(2015)
- 『村上海賊の娘 上巻』 和田 竜(2013)
- 『海賊とよばれた男 上』
百田 尚樹(2012)
- 『舟を編む』 三浦 しをん(2011)
- 『謎解きはディナーのあとで』
東川 篤哉(2010)
- 『告白』 湊 かなえ(2008)
- 『ゴールデンランバー』
伊坂 幸太郎(2007)
- 『一瞬の風になれ 1』
佐藤 多佳子(2006)

- 『東京タワー』
リリー・フランキー(2005)
- 『夜のピクニック』 恩田 陸(2004)
- 『博士の愛した数式』 小川 洋子(2003)
- 『天地明察』 冲方 丁(2009)
- 『デートピア』 安堂 ホセ(2024)
- 『ゲートはすべてを言った』
鈴木 結生(2025)
- 『サンショウウオの四十九日』
朝比奈 秋(2024)
- 『バリ山行』 松永 K三蔵(2024)

令和8年3月4日
鶴岡市立図書館
鶴岡市郷土資料館
〒997-0036
鶴岡市家中新町 14-7
TEL (図)25-2525
(郷)25-5014
FAX 25-2526



リードン ヨンデール
©Tsuchida Yoshiharu



3月の新着案内



リクエスト・予約開始は 3月13日(金) です

やまびこ号の次回巡回日は

月 日です

◎小説・エッセイ

- 物語伝承論 (兵藤 裕己)
- ふたりの祖国 (安部 龍太郎)
- ライフログ分析官 (我孫子 武丸)
- 退職クロスロード (安藤 祐介)
- 犯人はキミが好きなの (阿津川 辰海)
- これは経費で落ちません! 13 (青木 祐子)
- 最後の皇帝と謎解きを (犬丸 幸平)
- 嵐の中で踊れ (一木 けい)
- 夜明けのハントレス (河崎 秋子)
- 森羅記 2 (北方 謙三)
- あなたの命綱 (久坂部 羊)
- めじろ鳴く (佐伯 泰英)
- 粉瘤息子都落ち択 (更地 郊)
- 超巨大歩行機ゴリアテ (椎名 誠)
- 飛上りもん (高田 在子)
- 暗黒の彼方 (堂場 瞬一)
- 北条氏康 [5] (富樫 倫太郎)
- ルカとチカ (長野 まゆみ)
- 救いたくない命 (中山 祐次郎)
- 教場Ω (長岡 弘樹)
- 青青といく (永井 紗耶子)
- 恋するブタハナ (額賀 滯)
- のほほん人生 (原 宏一)
- チップス 上・下 (真山 仁)
- サチコ (群 ようこ)
- 甘蔓情話 (山本 一力)
- 森崎書店の日々 [正] (八木沢 里志)
- 大河の一滴最終章 (五木 寛之)
- 本当のことを言おうか 2・3 (谷川 俊太郎)
- これがそうなのか (永井 玲衣)

◎実用書

- 哲学者たちの〈ほんとう〉の仕事 (ナシム・エル・カブリ)
- ドイツ人の時間の使い方 (松居 温子)
- 1つの習慣 (横山 直宏)
- 47都道府県・古墳百科 (一瀬 和夫)
- 百武三郎日記 1・2・3 (百武 三郎)
- 3・11復興ふるさとの記憶を遺す 希望の文化財(山田 菜の花)
- 秀吉と豊臣一族研究の最前線(河内 将芳)
- おいしいひとり温泉はやめられない (山崎 まゆみ)
- 死刑囚の理髪係 (ガリ)
- ファミリービジネスの教科書 (蒲地 正英)
- 職場のハラスメント相談と通報 対策ハンドブック(佐藤 郁美)
- ルポあなたの知らない民生委員(武井 優)
- 知らないと合格できない令和の 受験のフツウ(西岡 壱誠)
- 世界浴場見聞録 (こばやし あやな)
- 神さまや鬼とのふしぎな話 (小澤 俊夫)
- 腸疲労 (平島 徹朗)
- ハーバード×スタンフォードの医師が 教える100年生きる食事術(梶原 一人)
- ぼくらがAIBOをつくった (黒川 文雄)
- 小泉八雲のレシピ帖 (小泉 八雲)
- じゃがいも玉ねぎたまご (ワタナベ マキ)
- 水耕栽培まどべじ! (利倉 夏実)
- 寄せ植えのはじめかた (主婦の友社)
- 愛犬のための急変・救急対応事典 (伊藤 寿雄)
- 47都道府県・美術館百科 (可児 光生)

◎児童書

- おともだちえほん (高濱 正伸)
- 楽しくポカポカおふろの入りかたずかん 3 (天野 勢津子)
- 毒のずかん (国立科学博物館)
- ワニわらう (内田 麟太郎)
- 私立探検家学園 7 (斉藤 倫)
- わかったさんのマシュマロ (永井 郁子)
- 十年屋 9 (廣嶋 玲子)
- ◎絵本
- デコピンのとくべつないちにち (大谷 翔平)
- まいごのモリーはおるすばん (こまつ のぶひさ)
- うろおぼえ一家のおでかけ (出口 かずみ)
- さかさま (TERUKO)
- おばあにゃん (ななもり さちこ)
- ゆっくりポック (益田 ミリ)

=先月結果発表された賞=

第77回読売文学賞

小説賞

『帰れない探偵』 柴崎友香

1949年に戦後の文学復興の一助にと創設された。過去1年間に発表された作品が選考対象となる。

文学賞の他に戯曲・シナリオ賞、随筆・紀行賞、評論・伝記賞、詩歌俳句賞、研究・翻訳賞の全6部門が存在する。

新着図書は右記以外にもありますので、お気軽にお声がけください。新刊は、ホームページでもご覧いただけます。

